

2022年6月2日

報道関係者各位

株式会社ニュースダイジェスト社
愛知県機械工具商業協同組合

産業用ロボット専門展「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN2022」、 常滑市内の小学生218人の見学を受け入れ

株式会社ニュースダイジェスト社（主催、名古屋市千種区、代表取締役社長・樋口八郎）と愛知県機械工具商業協同組合（共催、理事長・水谷隆彦）は7月1日（金）、産業用ロボットと自動化システムの専門展「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN（ロボットテクノロジー・ジャパン、RTJ）2022」に、愛知県常滑市内の小学生218人の見学を受け入れます。

今回は愛知県常滑市や同市教育委員会と協力し、市内の3つの小学校から5、6年生の計6学級218人が見学します。内訳は、市立三和小学校から5年生の1学級38人、市立鬼崎北小学校から6年生の2学級76人、市立常滑西小学校から6年生の3学級104人です。当日は別室での概要説明の後、会場内のロボットメーカーの展示や主催者企画などを巡ります。

産業用ロボットは製造業や物流、医療など幅広い分野で活躍しています。世界でも優れた競争力を持つ企業が国内に多く存在する一方、日常生活では目にする機会が少ないため、同業界の魅力を伝えようと企画しました。また、産業用ロボットは、製品単体で機能を発揮する工業製品ではありません。周辺機器との組み合わせや動作プログラムが必要です。周辺機器との協調の大切さやシステムの作り方などにも興味を持ってもらい、物事を順序立てて考察する力を養う一助になると期待しています。

なお、本件の詳細については、6月23日以降に常滑市から発表する予定です。取材のお申し込みに関しましても、その際に併せてご案内します。

【ニュースダイジェスト社社長 樋口八郎のコメント】

産業用ロボットは、自動車、飛行機、パソコン、スマートフォンなどの製品の製造、また、農業、医療品、物流などの分野でも活躍しています。縁の下ではありますが、そうした分野で活躍する日本企業が多く、少しでもその魅力を知ってもらいたいと企画しました。

また、完成された製品だけでなく、作り方にも興味を持ってもらい、物事を順序立てて考える力を養うきっかけになればとも考えます。主催者として、小学生が具体的に将来の夢を想像してもらえるようなことがあればうれしく思います。

以上

本件に関する問い合わせ先

・見学に関して：常滑市役所 企画部 企画課 企画・行政改革チーム 担当：森

Tel：0569-47-6111 Fax：0569-35-4329 e-mail：kikaku@city.tokoname.lg.jp

・展示会に関して：株式会社ニュースダイジェスト社 RTJ事務局 担当：平野、西塚

Tel：052-732-2455 Fax：052-732-2457 e-mail：info@robot-technology.jp